

松川 博明



教会から聞こえる歌声、ココナッツを削る音、家族の笑い声。サモアで毎日聞こえていた音達が昨日のことのよう思い出されます。サモアから帰国して2年半。外国人として過ごしたサモアでの生活は思い通りにいかないことばかりで、モヤモヤした日々の方が多かったと思います。しかし、サモアで出会った家族、同僚、生徒、村人達に支えられ、今では笑顔で過ごした日々ばかり思い出されます。今回のグローバルフェスタで、サモアでの日々を振り返ることで、自分はサモアのことを本当に好きなんだなぁと改めて実感しました。ボランティアとしての活動は決して実りあるものではなく、大きな成果は何も残せませんでした。サモアの人々と笑顔で過ごした日々は宝物です。これからも自分がサモアで得た宝物を多くの人に恩送りし、少しでもサモアのことを知ってもらうきっかけや、自分自身のありかたを見つめ直すきっかけを伝えていきたいと思えます。